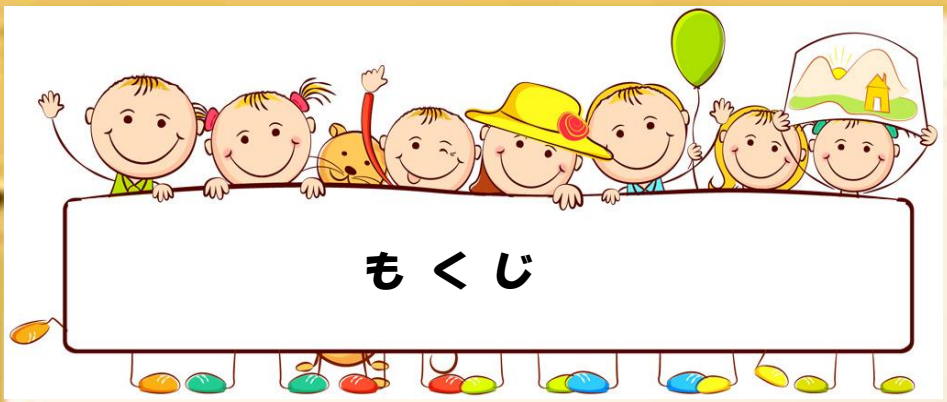
ＥＳの樹

私たちは聴くことを大切にします。
ＥＳの文字を左右対称に合わせることにより
対等な関係で耳を傾け心のささやきにも寄り添い
聴くことを表現しています。

No. 33　2019年４月　発行



P. 2～3　子どもの権利を考える

P. 4～5　「障がいのある子どもの子育てについて
男女共同参画の視点から考える
講師　梅花女子大学　伊丹昌一さん

P. 6～7　SAYの会

P. 8～10　HR(Human Rights プロジェクト)

P. 11　中区子育てひろば4年目スタート！

P. 12～13　研修レポート

P. 14　エンパワメントファシリテーター研究会の案内

P. 15　本の紹介/CAP活動報告

裏表紙　事務局からの お知らせ

子どもの権利を考える
（国連勧告と SDGs から）

子ども権利条約が日本で批准されてから今年で 25 年になります。（以下転載「人権学習シリーズ９　あたりまえの根っこ」（大阪府府民文化部人権室）より）

私たちは、子ども権利条約ネットワーク関西の中で、「子どもの権利を考える　国連勧告と SDGｓから」の学習会に参加しました。
子ども権利委員会の報告では、子どもの最善の利益、子どもの意見の尊重など、これまでにも勧告を受けていたにも関わらずなされていない状態に再度想起し具体的な措置をとるように促す内容でした。
さらに、体罰については、学校だけではなく、家庭・代替的養護および保育の現場などあらゆる場面におけるあらゆる体罰（いかに軽いものであっても）法律で全面的に禁止するとのことでした。
障がいのある子どもに対して、無国籍の子ども、性的搾取、思春期の健康についての子ども権利委員会の総括報告を知り、子どもの権利に関連してとられた制度や政策の措置などの勧告も知り、これまでも子どもの権利の軸にした活動にうなずく内容そのものでした。
そして岡島さんからのお話は、今、政府が全面的に謳っている SDGs は、人権の視点で語られていることが多い、特に子どもの権利条約を活動している人たちは、子どものことを埋まらせてはいけないことを強調されました。政府が取り上げている SDGs や国連からの勧告は、私たちの活動に後押しをしてくれていることを実感し、SDGｓを再度子どもを軸に整理したいと動き出しています。

・・・・

【NPO 法人えんぱわめんと堺/ES より公開質問状を送付しました】
政治的なことが身近なことと感じるよう１人ひとりが意識を持って、回答を拝読し、多くの人に見てもらうよう拡散しました。

＊＊＊ 18 才～20 代の若者にも届きますように＊＊＊
この度、統一地方選挙が公示されました。(4 月 7 日投票)
堺市議会議員の候補者の方に「子ども支援・教育施策」に関してお立場、お考えをお聞きしたく公開質問状を送付しました。
堺市議会議員候補者６２人のうち、メールアドレスまたは FAX 番号が判明した人へ送付し、
2019 年 3 月 31 日現在１３人の方から回答をいただきました。
回答していただいた候補者・事務所に感謝いたします。

詳細についてはえんぱわめんと堺/ES　HP より
http://www.npo-es.org/npo-es.org/senkyo-answer

（きたの）

子どもの権利条約とは

すべての子どもに人権を保障する法的拘束力を持った初めての国際条約。
条約は、子どもにとって最善の世界を作るための国際社会による長年の取り組みの中で成立。
法的拘束力を持つ国際法として、国連加盟国が共有すべき原則、即ち国家や文化、時代背景に関係なく、人類社会に生まれたすべての子どもに適用されるべき原則が成文化されたもの。

●「子どもの権利条約」成立まで
1945 年 国連の設立
1948 年 世界人権宣言
1951 年 児童憲章
1959 年 子どもの権利宣言
1979 年 国際児童年
1989 年 子どもの権利条約が第 44 回国連総会にて採択（1990 年発効）
1994 年 日本が「子どもの権利条約」に批准
2014 年 10 月現在、締約国は 193 の国と地域（アメリカ、ソマリア、南スーダンのみ未締約）

●「子どもの権利条約」で大切にされていること

1. 生きる権利：　防げる病気などで命を奪われないこと。病気やケガをしたら治療を受けられること。
2. 育 つ 権利：　教育を受け、休んだり遊んだりできること。考えや信じることの自由が守られ、自分らしく育つことができること。
3. 守られる権利：あらゆる種類の虐待や搾取などから守られること。障がいのある子どもや少数民族の子どもなどは特別に守られること。
4. 参加する権利：自由に意見を表したり、集まってグループを作ったり、自由な活動を行ったりできること。

「人権学習シリーズ９　あたりまえの根っこ」(大阪府府民文化部人権室)

障がいのある子どもの子育てについて
～男女共同参画の視点から考える～

梅花女子大学/大学院　伊丹昌一さんを招いて

「諦めなければ必ず良くなる！」

伊丹さんのこの大変力強いメッセージは、私にとって日常の家庭における、また社会の中の男女間の役割における認識を多角的な視点で振り返るきっかけとなりました。また、「子どもの成長を同じ年齢の他の子どもと比べるのではなく、その子自身がどう成長して変化していくか。」「自信を持って生きていけるかが子どもにとって一番大切。」これらの伊丹さんからのメッセージは、講座に参加を頂いた多くの方々にとって、子どもを信じることの重要性を改めて実感する機会になったのではと感じます。

りんご

～講座参加者の感想～

愛情をもって子どもに接し、自分も含めて幸せになれるようにイメージをして周囲と関わっていきたいと思いました。

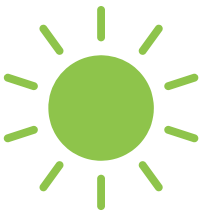
支援をしていく上で諦めないで関わり続けることは大切だと思った。

感情的にならず、子どもを叱り、褒めることは経験と忍耐がいることだと思いますが、職場でも我が子にも実践できるようにしたいと強く思いました。

子どもの問題行動に注目するのではなく、ルールを守れた瞬間を見逃さず、褒める機会を積み上げていこうと思いました。

起こりもしない将来を心配しないという言葉が響きました。

子も親も今を大切に！心配性の自分は起こりもしない未来を心配しすぎるので、それをやめて見える角度を変えていこうと改めて考えることができました。



SAYの会

【SAY の会ワークショップについて】

2018 年度もＳＡＹ（性・生）の会では、大阪府内で 10 代から 20 代前半のたくさんの生徒さんに出会いました。

中でも特別支援学校よりご依頼いただいた子ども向けワークショップは、大阪府内 4 校中学部（中学校）１～3 年生、高等部１～3 年生の参加者約４２０名２０ワークショップとなりました。ＳＡＹ（性・生）の会にとって、親でもなく教師でもない立場で「外部である私たちができること」をポイントとしての受託です。

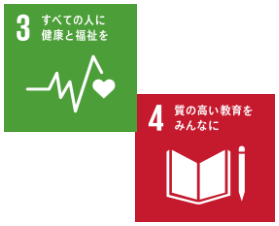
その中の一校は中学部 1 年生から高等部 3 年生まですべての学年への実施をされました。

プログラム実施に向けて、事前に教職員の皆さんと細かな打ち合わせをし，各発達段階において生徒に必要な“性”についての学びをピックアップし、また理解力を考慮したプログラムを作成しました。ワークショップでは、それぞれのクラスの生徒たちの大きな力を感じることができました。その学校との協力体制のもと、2014 年度よりの継続した取り組みをしてきたことも大きいと感じています。

社会に出てからの性についての課題は多いです。教育の場で性についての取り組みは、今後さらに重要になってくると実感しています。

しかしながらこの大阪府内で、既にこのように先駆的な取り組みをしている支援学校があるということを、この場に記します。そしてそのことに関われ成果を得られたことを嬉しく思っています。私たちはこれからも、一人でも多くの生徒たちに、学校現場でプログラム実施できることを願います。

以下は、取り組んだポイント



・自分と他者の心身の健康を尊重し、それに対し責任を持つこと
・自分自身の存在と性的な身体的発達の肯定
・社会で性について自立できる力の育み
・プライバシーの尊重と社会的ルール
・性に関する境界線
・性についての関係性　　（ほりちゃん）

【オランダに学ぶこれからの日本の性教育】

リヒテルズ直子さんの講座に SAY（性・生）の会の３人で参加してきました。

［０歳から始まるオランダの性教育］が 2018 年末に発売されたところで、リヒテルズ直子さんの読みたての本をカバンに忍ばせて、うきうきと参加しました。

オランダの性教育はなぜ進んできたのか？オランダも昔は（1960 年代まで）日本と同じく、保守的な国でした。しかし、ヨーロッパで移民を受け入れてきた国ならではの、多様な価値観が一気に混ざってきて、混乱期があり、一方的なオランダに昔からある考え方や、価値観、宗教の教えだけで縛ることは、オランダ人にとっても移民の人たちにとっても、良いことではなかった。お互いの文化や考えを知り尊重し、クローズドな社会から、オープンな社会へ変革し、基本的な人権の尊重および市民性教育を学校に取り入れ、子ども達を通して親にも学びを伝える。そして性の多様性をはじめ、ヘルシースクール・プログラムという、学校を丸ごと健康共同体にするプログラムも、始まった。

　恋している心情を日本では「胸キュン」や「心臓がドキドキする」などと、胸のあたりで感じるものとして表現されることが多いが、オランダでは「おなかの中に蝶々が飛んでいる」と言って、おなかの辺りがもぞもぞするという風に表現するそうです。

そして、この 4 月、日本では新学期が始まる頃ですが、子ども達は春の陽気で恋が始まる期待も高まっています！その時に合わせて、「春のもぞもぞ週間」と親しみやすい名前を付けて、全国の学校がオープンに明るい気分で、一斉に性教育に取り組めるようにと、ルトガース研究所（性の問題を扱うシンクタンク）と教育文化科学省、地域の保健所が共催でキャンペーンをするそうです。真っ赤なハートの風船を空に飛ばしたり、テーマソングを歌ったり、装飾を施されたバスが学校に来たり、性教育推進週間のはじまりです。多くの学校で性をテーマにした授業が行われます。年齢に合わせたカードゲーム形式のワークショップや、性犯罪や性の悩みにまつわる動画を見る、生徒同士で意見交換しそれぞれの性意識を受け入れる。教材や資料・講師もルトガース研究所が沢山提供してくれるそうです。

今年はＳＡＹの会でも、ハートの風船を携えてワークショップに出向いていこうかな？

by hashimoto

【2018 年度　SAY の会活動実績】

大阪府立大冠高等学校・大阪府立園芸高等学校（教職員）・私立帝塚山学院中学校・大阪府立長野北高等学校
大阪府立懐風館高等学校・大阪教職員組合泉州ブロック（教職員）・大阪府立長吉高等学校・大阪府立福泉高等学校（教職員）
大阪市立長谷川小学校・大阪府立金岡高等学校（教職員）・私立羽衣学園中学校・大阪府立長野高等学校・堺工科高等学校（教職員）
大阪府立高石高等学校（教職員）・堺市中区子育てひろば（おとな）・大阪府立摂津支援学校・泉州地区教職員組合協議会（教職員）
大阪府立高槻北高等学校・社会福祉法人 あさか会　障がい福祉サービス さくら(職員)・大阪府立枚方高等学校（教職員）
大阪府立豊中支援学校・大阪府立福井高等学校・貝塚市人権研究会（教職員）・大阪府立和泉総合高校定時制
堺市 PTA 人権研修（幼稚園小学校中学校高校の PTA 会員）・大阪府立布施高等学校定時制・北かわち皐が丘高等学校（教員）
大阪府立寝屋川支援学校・大阪府立東住吉総合高等学校（教職員）・堺市男女共同参画週間ワークショップ（おとな）
大阪府立吹田支援学校・大阪府立堺西高等学校・大阪府立堺支援大手前分校（教職員）・私立大阪暁光高等学校
私立清教学園中学校・障がい児放課後等デイ　アンツ美原（保護者）・貝塚市立第五中学校・私立四天王寺小学校（教職員）
市民団体（おたまじゃくし）子育て支援(未就園児の保護者)

合計 42 校・団体 69 ワークのべ 4449 名

デート DV 防止全国ネットワーク近畿地区フォーラム参加

HR(Human Rights)プロジェクト

“境界線”という言葉を知っていますか？国と国の境界、県と県の境界、家と家の境界があるように、人と人の間にも“境界（線）”があります。
子どもたちにも『人には、自分と他者が「安心と感じるところ」と「不安だと感じるところ」があり、その境目のことを“境界線”といいます』と伝えています。
学校に行くと、休み時間に数人の子どもたちが絡まり合ったり、上に積み重なったり、ベタベタくっついたりしている姿をよく見かけます。教師や支援者たちもこの様子を課題に思っている人たちが多いようです。
HR では「エンパワメント授業」の中で、“境界線”というテーマについても子どもたちと一緒に考えています。
「一人ひとりに境界線があること」「その境界線は人によって違うこと」「どんなに親しい人でも境界線を侵害されたときは“イヤ”と言ってもいいこと」をロールプレイを通して一緒に考えていきます。たとえば、①自分の消しゴムを勝手に使われる②「遊ぼう！」と言って腕引っ張る③「〇〇さんて前にこんな失敗したんやでー」など、“物の境界線”、“カラダの境界線”、自分の過去や失敗について勝手に言われる“ココロの境界線”など、様々な境界線について考えていきます。
ロールプレイでの子どもたちの反応は様々です。
「相手がいいって言ってないからあれはあかんわ」「でも、貸してって言ったからいいんちゃうん？」「無理やり引っ張られたら痛いわー」「仲良しやからいいやん！」「あんなこと、勝手に言われたらむかつくわ」「いい話やったらいいんちゃう？「・・・（無反応）」「・・・（周囲をキョロキョロ）」
「貸してって言ったけど、相手はどうやった？」「仲良しやったら何でも OK かなあ？」「いい話やったら本人の許可はいらんのかな？」「みんなはどう思う？」子どもたちの意見からどんどん深めていきます。
みんなアタマではいろいろなことを分かっています。でも・・・実際には・・・？
境界線を侵害されると人はいろいろな気持ちになります。
子どもたちの本音は、「仲がいいからこそ断れない」「自分のこと嫌いって思うかなぁ？」「断わったら自分が嫌われるかも・・・」「そんなことぐらいで・・って言われる」
本当の気持ちを出せずに抑圧している子どもたちはとても多いです。本当は泣きたい気持ち、むかつく気持ちなのに、人前ではニコニコ笑ったり、何も感じていないふりをしています。
「自分の気持ちは自分のもの」自分の気持ちを我慢したり、なかったことにしないで大切してほしいことを伝えています。境界線やアサーションのワークショップをしている、ティーンズポストの八巻香織さんは、イヤは無理のない適度な距離をつくる感情であること、いや＝きらいではない（この行為に関しては NO だけど、あなたのことがきらいなわけではない）ということを理解することで、お互いの境界線を守り合ってよりよい関係を作ることができることを教えてくれています。
人との距離感、自分の物と他者の物の区別、身体接触については安心なさわり方といやなさわり方について学ぶことは、自分も相手も大切にするために大切です。
ワークショップでは、境界線の侵害にならないために、相手に確認して、同意を得ること、また、イヤを伝えた後に代案を出すことも実際に練習していきます。
「自分が OK でも相手は NO の時もある」境界線は見えないからお互いが意識をすること。自分も相手も大切にする境界線。おとなの私たちも考えていかないと・・・　　ｂｙ　ありちゃん

＜すてきな頼み方＞

・たのみ方のげきを見て、人とも気もちよくかしたり、かしてもらったりできるのが分かりました。とてもいいべんきょうになりました。（小2）

・わすれた時や、なくなった時、人にかりるなら、りゆうを言って、「ていねいなことばで言うんだ」と思いました。「人に自分の気もちをつたえることは大切なんだな。ぼくもこれから自分の気もちを人につたえよう」と思いました。（小2）

＜感情の扱い＞

・イヤなことがあったとき、ゆっくりしんこきゅうしました。とてもおちつきました。しんこきゅうや、だれかに言うと、きぶんがすこしおちつくとわかりました。これからも、イヤなときは、このやり方をやります。（小1）

・きもちのべんきょうたのしかったです。「おこりんぼうさんのやくそく」もしました。大切なやくそくでした。目耳ハートはきくあいずをおしえてもらえてよかったです。（小1）

・「怒りの温度計」で、人によっていやなことがあってもおこる度が高かったり、低かったりすることが分かったのでうれしかったです。自分にしか気持ちはわからないっていうことが分かりました。今日の授業で今までの自分を振り返ることもできました。（小5）

・ストレスがたまっていて困った時の、いろいろなやり方を教えてくれたから、けっこうすっきりしました。中学生の人にも教えてあげたらいいと思います。（小5）

・「怒りの温度計」で、自分はどこか、なぜそこにしたかとう理由を言うのが、自分の意見以外も、他の人はどう感じるのかをしれてよかったです。1 年生の時から、日常生活で考えないことを考えるので、とてもいい経験になっています！（小5）

＜境界線＞

・「きょうかいせん」がしれて、うれしかったです。人のものをかってにつかうのはだめだとおもいました。（小2）

・人によってさまざまな感じ方があるんだなと思いました。自分はイヤと感じなくても、人はイヤと感じることもあるなと思った。（小2）

・境界線って、人と人でちがうし、人のきもちはわからないから、境界線を大切にすると分かった。（小4）

・授業を受けて、境界線を守ろうと思いました。前まで、仲のいい友達にはことわりにくかったけど、これからは習ったように断わろうと思いました。（小4）

＜その他＞

・目・耳・ハートはきくあいずがよく分かりました。自分ではんだんできるってすごいんだなーって思いました。人は無げんに力をみにつけられるんだなー。（小3）

・今まで多数意見に合わせていたけど、授業を受けて、少数意見もたいせつなんだなと思い、これからは自分の思うことを言っていきたいです。（小5）

・協力活動をしているとき、いろいろな力の出し方があり、全員が助け合っていていいクラスだなと思いました。やりとげることができてうれしかったです。（小6）

・意外に自分のしらない肯定的な一面を友達は知っていると思った。自分は絶対ちがうと思うことに友達が○をつけてくれていた。だから、自分はこうだから絶対にできないとか思いこまずに、どんなことでもチャレンジしていきたいです。（小6）

― 2018 年度　HR プロジェクト活動実績　―

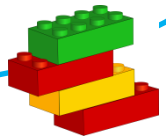
教育関係	―子ども対象（クラス単位）― ＜堺市＞ はつしば学園小学校（２年生３クラス、５年生３クラス） 浜寺石津小学校（４年生２クラス） 榎小学校（４年生４クラス） 茶山台小学校（４年生１クラス） ＜豊中市＞ 西丘小学校（１年生～６年生全学年１９クラス） ＜箕面市＞ 東小学校（５年生３クラス） 豊川北小学校（５年生２クラス） ＜柏原市＞ 国分小学校、国分東小学校（４年生３クラス） ＜大阪市＞ 三軒家西小学校（１年生～６年生全学年６クラス） ＜泉南市＞ 鳴滝小学校（５年生１クラス） 西信達中学校（２年生２クラス、３年生２クラス×２回） ―おとな対象（教職員・ＰＴＡ）― 泉南市校長研修 豊中市立西丘小学校ＰＴＡ 三軒家西小学校教員研修
医療・福祉関係	―おとな対象（一般）― グローライフ（介護職員初任者研修、移動支援従事者研修、 同行援護支援者研修　　全１０回）
子育て支援関係	―おとな対象（一般）― 子育てサロン「おたまじゃくし」 浜寺校区おもちゃ図書館 中区子育てひろば「うきうきルーム」 大阪狭山市男女共同参画推進センター「きらっとぴあ」
その他	―おとな対象（一般）― 認定 NPO 法人シニア自然大学校 （子ども指導者養成講座４回、自然に親しむ講座４回　全８回） チャイルドラインいずみ養成講座　２回 （コミュニケーション、子どもの権利　全２回）

中区子育てひろば　うきうきルーム

堺市中区の子育てひろばの運営も４年目に入りました。
『子どももおとなも　ひとりじゃないよ』を大切に、今年もエンパワメントの関わりを続けていきます。

～スタッフより～

　吹く風も暖かく感じられる季節となり、うきうきルームは４度目の春を迎えます。
四月から△△タイムが新しく設定され、テーマに沿った映像や音楽などを通して一緒に五感を育む時間になればと楽しみです。スタッフ MM



４月に入りうきうきルームの大きい窓には暖かい日差しがふりそそぎ、毎年恒例の大きな桜の木が沢山の桜の蕾や花を咲かせています。
今月から利用されている方々と五感を使って楽しむ少しの時間を△△タイムとして新たに設けています。この時間を通して皆さんと色んなお話をしていきたいなぁと思っています♪
（藤井）

４月からの想い
４月からまたうきうきルームの継続が決まり、嬉しい気持ちでいっぱいの春がやってきました。
４年前の一番最初の立ち上げから ひろばスタッフとして関わらせて頂き、３年という月日の早さに驚いています。ひろばでは利用者さんを支援させて頂く以上に、自分の学びの場として本当に色々なことを勉強させて頂きました。また今から３年… 自分が利用者さんと共にどれぐらい成長していけるか、そして、自分にできることは何か… を考えながらまた初心に戻った気持ちで スタートを切れたらとの想いです。４月からまた宜しくお願い致します!!（O より）

研修レポート

ドナルド・マイヤーさん講演会in　Osaka（3 月 21 日）「きょうだい支援の原点と、これから」に参加してきました。　＊きょうだい（障がいや病気をもつ子どもの「きょうだい」の意）

オレンジりぼんの活動の中で、きょうだい支援を始めて少し経った 2001 年に東京にマイヤーさんが来るという事で、ES から‘うきちゃん‘と‘みっきー‘が東京へ行き「シブショップ」ファシリテーターの養成に参加した。その報告を聞いて『きょうだい支援の必要性』を確信したことが、もう 18 年前とは。。。

✿きょうだい支援の必要性✿

＊親の経験ときょうだいの経験は似ている。―障がいや病気のこと・今後のこと・対応のことなど知識不足からくる不安は親もきょうだいも同じように感じることが多い。それなのに、親へのサポート体制（行政・ピアグループ）はあるが、きょうだいへのサポート体制は無い。

＊きょうだいへの課題は一生。学校卒業して終わるものではない。

＊きょうだいが過ごす時間が一番長い。おとなが家事などしている間、一緒にいなければならない。

マイヤーさんがきょうだい支援始めた 1982 年ごろ、きょうだいに関して大学教授が一方的に困りごとを聞くという集まりはあったが、決して楽しいものでもないし、きょうだいはその場が苦痛でしかなかった。マイヤーさんは、まずは、きょうだいが楽しめる場にしたいと考え、遊び・ゲーム・クッキングなどをしながら、きょうだい同士で話ができる場を提供した。きょうだいのことで、悩みを相談したり、気持ちを聴いてもらう場がないので、1 人で考えたり自分を責めて悩んでいたりしている子どもがいることがわかった。例：きょうだいが寝ている時に近くで除光液を使ってしまったら、病状が急変して亡くなってしまった。自分がそんなことをしたからきょうだいが亡くなったと、おとなになるまでずっと思い込んでいた。自分だけが生き残った罪悪感。例：弟妹のきょうだいが兄姉の能力を超えてしまう時の罪悪感。例：きょうだいの事を隠したい、知らんぷりしたい、いないと答える。例：大学生になり、親元を離れる時に、きょうだいを親に面倒みさせる罪悪感。例：どのきょうだいでも起きる普通のきょうだいげんかをしてしまったことをずっと罪悪感をもって過ごしていた。

きょうだいだちは、「障がい（病気）の原因は、あなたじゃなない。／感染するものではない」とハッキリ言ってあげないと、理解が出来ていないことも多い。きょうだいは、一緒にいる時間が長いので周りのおとなや子どもから障がい（病気）のことを質問されることが多いが、きちんと説明を受けていない事が多く、中には、聞いてはいけないと思っている子もいる。正しい情報を伝えることや同じように感じている（経験している）きょうだいとの出会いで、そんなことあるある～と話することで気持ちが楽になる。

上記は、マイナスの事を色々挙げたが、病気障がいのきょうだいがいることでプラスの事を上げるきょうだいも多い。普通では得難い経験、病気や障がいへの知識があり、人とのコミュニケーションがスムーズ、実際の例としてローズマリーケネディさん（障がいのある方）の複数のきょうだいの功績は大きく、州の障がい者理解の制度を変えた人、スペシャルオリンピックの創始者、障がい者アートを広めた人などがいる。

きょうだい支援の効果―ワシントン大学の調査できょうだいが不安など解消することで、家族や障がい病気のきょうだいへもプラスの効果があるし、その効果はおとなになっても続くことが分かったので、シブショップの有効性は証明されている。

NPO 法人しぶたねより、「日本のきょうだい支援と現状とこれから」の報告の中で 18 年前と比べて日本全国で「きょうだい支援の場」が広がってきていることがわかった。きょうだいの当事者のグループだけでなく、家族会、病院や福祉・学校関係者など支援者、ネット上で集まれる場・話せる場など多様な形式でおこなわれている。もっと「きょうだい支援」の必要性をしってもらうために「きょうだいの日」の制定に取り組み、４月 10 日は「きょうだいの日（シブリングデー）」と、制定されました。その記念すべき発起人第１号は、マイヤーさんです。その写真↓

きょうだいやその周りの人が、安心して過ごせるように、私ができることをこれからもしていきたいです。

（たえぽん）

＊ローズカーニバルおしらせ＊

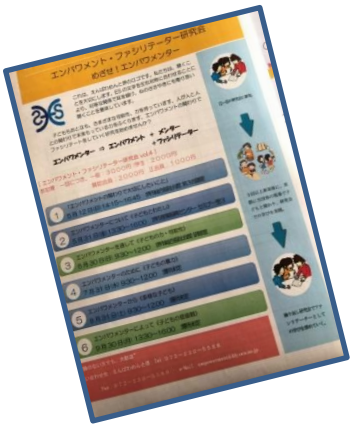
今年も、５月 19 日（日）に浜寺公園で開催されるローカーニバルに参加します。
フリーマーケットでの売上金および寄付金を利用して、子どもたちへワーク届けます。
フリーマーケットに出品する品物を提供してくださる方はＥＳ事務所までご連絡ください。

エンパワメント・ファシリテーター研究会 Vol.4
めざせ！エンパワメンター

４クール目を迎えるファシリテーター研究会です。
エンパワメンターをキーワードに進めていきます。
子どももおとなも、さまざまな可能性、力を持っています。
人が人と人との関わりで本来もっている力をふくらます、
エンパワメントの関わりでファシリテートをしていく研究を始めませんか？

エンパワメンター ⇒ エンパワメント ＋ メンター
＋ファシリテーター

昨年度、私たちは NPO 個別サポートの機会があり、数回、経営マネジメント等の専門の人からアドバイスをいただいた。その中から生まれたのが「エンパワメンター」と言う言葉だった。
私たちの団体の経歴や事業、また強みや弱いところなど数回に亘って専門職のリー・ヤマネ・清実さん（中小企業診断士）に話す中で、何度か出た言葉が「もったいない！」と言う言葉だった。
ある時、私たちが席に着くなりリーさんが差し出したのは、日経新聞の切り抜きだった。「これ読んでみて、あなたたちが子どもの対応でやろうとしているエンパワメント・ファシリテーター研究会は、教育だけでなく、福祉も企業も行政もどこでも今、求めていることなのよ！」「これまでの強みとして、このファシリテーターを育ててきた過程から、さらに、もっと広い範囲で『エンパワメント・ファシリテーター研究会』として広げなきゃだめよ！」と言われた。
未来への扉として私たちはこれまでの強みをベースに
エンパワメント・ファシリテーター＝エンパワメンターをめざします。



私たちがそもそもファシリテーター研究会を始めようと思ったのは、
子どもたちと関わる時、子どもの力を信じて、子どもの持っている力をみつけそれを促進できているのか？声なき声や小さなささやきもしっかり受け止められているか？聴けているのか？
おとなである私たちがファシリテーターとしての資質を高めたい。
そして、子どものことを一緒に考えられる仲間を増やしたい。
子どもにやさしい地域づくりをめざして、子どもの権利を考えて、子どもの声を聴けるおとなを増やしたかった。

多くのおとなに知ってほしいです。
ファシリテーターって何？と思っている人、こども食堂や放課後デイサービスのスタッフの人、ちょっとやってみたいなと思う人がいらっしゃったら
声を掛けてください。

おすすめ本の紹介

『ルポ子どもの無縁社会　石川結貴』

人間関係が難しいと感じますか？と言う問いに多くの人たちがたいへんだと応える。
特に思春期の人たちにとって、面と向かっての関係性は、かなりハードルが高いと言われる。
なぜ？こうなってしまったのか？
ある時、紹介していただいた本を読んで「うぅぅぅ」と唸らされた。
―友だちとも「うわべだけ」の関係になりがちな今、“無縁の連鎖”が子どもを襲う―と表紙裏面に記されているこの本を再度読み直すことで、何かが見つかると思った。（きたの）

CAP プロジェクト活動報告

2018 年 10 月～2019 年 3 月まで

	子どもワークショップ									おとなワークショップ	
	小学校			幼稚園・保育所			中学校				
	校数	クラス数	人数	校数	クラス数	人数	校数	クラス数	人数	回数（教職員）	人数（教職員）
10月	１８	３９	1162	０	０	０	1	３	95	20（１９）	８６（６４）
11月	１６	４１	1252	０	０	０	1	４	152	２０（１７）	４７７（６５）
12月	８	１７	544	1	1	27	1	４	129	１１（１０）	４１（３５）
1月	６	１９	634	２	２	５０	０	０	０	９（８）	３８（２９）
2月	２	５	155	1	1	３２	２	９	297	６（５）	３３（２６）
3月	1	４	127	０	０	０	０	０	０	２（１）	１１（５）
合計	５１	１２５	3874	４	４	109	５	20	673	６８（６０）	６８６（２２４）
年間	９３	238	8064	５	７	169	６	２２	７２７	121（106）	１０２３（３９２）

☆その他団体　１団体　　子どもワーク　２ワーク　　２０人

第１７回　ＥＳ総会＆イベント　ご案内

☆日時：　2019年５月１２日（日）
　　・総会―13:15～　　・イベント―14:15～16:45
☆場所：　堺市総合福祉会館　第３会議室

☆イベント内容：講師　市場恵子さん（社会心理学講師・心理カウンセラー）
「エンパワメントの関わりで大切にしたいこと」

会員募集～入会手続き～
正会員　　5,000円
（初年度のみ入会金3,000円）
賛助会員　1,000円（入会金なし）
◎ 更新日は年２回（１月31日・８月３１日）です。
◎ 会員有効期間は１年です。
◎ 郵便振替～通信欄に必要事項をご記入ください。
加入者名　特定非営利活動法人えんぱわめんと堺
口座番号　００９２０―９－１８２１１６

正会員　27名
賛助会員　98名（110口）
寄附金　15000円
2019年３月現在

ＥＳの活動はみなさまからの寄付、
ご支援にささえられております。
今後ともよろしくお願いいたします。

〒599-８２４４　堺市中区上之８０１番５号
特定非営利活動法人えんぱわめんと堺／ＥＳ
TEL：072-230-5588　FAX:072-230-5589
E-mail：empowerment@lily.ocn.ne.jp

編集後記

本誌Vol.32を発行してから半年のうちにも、ＥＳでは色々な出来事がありました。
NPO個別サポートの課題をみんなで考えて仕上げ、P.２にも記載のとおり市議候補者に公開質問状を送付するにあたり、またみんなで考え行動に移す、などなど。人との出会いもある。もちろん日頃のワークショップの振返りや研修も欠かせない。課題があれば毎回考えて自分の言葉で声に出してやってみる。常に動いている。「時間ない～」「しんどい」時もあるけど、とても大切な時間。
新しい環境や学年、学校に行きたくない子もたくさんいるだろうなあと思う春。みんなと一緒に話したり考えたことを大切にしながら、現場で子どもに寄り添いたい。（しおざき）